

週報

令和 6 年 2 月 9 日
2023~2024年度 No.24

2023-24年度 国際ロータリーのテーマ



世界に希望を生み出そう

国際ロータリー会長 ゴードンR.マッキナリー

プログラム

S A A 藤川 博士君

☆点 鐘

☆ロータリーソング斉唱

「我らの生業」

☆四つのテスト斉唱

☆誕生祝

☆食事懇談

☆会長の時間

☆幹事報告

☆委員会報告

①親睦委員会

・スマイルボックス報告

☆部内卓話

「ロータリー創立記念日卓話」

山里 一郎君

☆点 鐘

現在会員					前々回の欠席者 (1/26)					3名			
本 日	出席	22名	欠席	0名	免除(a)欠席	2名	免除(b)欠席	3名	出席率 100.00%				
	前々回	出席	16名	MU	3名	免除(a)MU	2名	免除(b)MU	3名	修正出席率 86.36%			
月別出席率%	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	
	本年度	77.26	83.66	87.66	84.78	89.40	90.22	92.55	95.45				
	前年度	82.97	81.16	84.53	81.69	91.84	91.44	90.16	93.48	96.87	83.80	85.93	89.39

例会場
例 会
事務所
カンパーナホテル TEL(0959)72-8111
金曜日(12時30分~13時30分)
長崎県五島市末広町8-4
福江商工会議所内 TEL(0959)72-3108

会 長 平 村 和 弘
副 会 長 山 里 一 郎
幹 事 松 岡 孝 博
雑誌:会報委員長 寺 澤 信 義

誕 生 祝

有川 真史君(昭和56年2月5日生)

本日は誕生祝いありがとうございました。

私は2月5日で43才になりました。気付けばすっかり中年層の仲間入りです。まだまだ若いつもりではいますが、40才を過ぎて20~30代の時と同じような生活をしていたら、体の中身や外側に色々な不具合が出でくるのだらうと思います。

先日も卓話で健康についてお話をさせて頂きましたが、まずは自分の体としっかりと向き合いながら日々を健康的に過ごす事。その上で自分のやりたい仕事や趣味などに没頭し、全力投球で頑張り続ける事。その先に、幸せな家庭生活や健全なロータリークラブの活動へと繋がっていくのだと思っております。これからも年齢を重ねるごとに自分自身を見つめ直し、充実したワーク・ライフ・バランスを送っていけるように、たった1度の人生なので出来れば楽しみながら過ごして参りたいと思っております。

ちなみに、誕生日の前日に会長エレクトの片山さんと大村まで補助金セミナーに出席して参りました。その日の夕食は、普段は食べられないような贅沢な焼き肉を片山さんからご馳走になり、いつもよりリッチで楽しい誕生日を過ごす事が出来たので、今年は例年より良い年になるような予感がしております。片山さん本当に美味しかったです。ありがとうございました。

以上で誕生祝いのご挨拶に代えさせていただきます。
本日はご静聴ありがとうございました。



会長の時間

会長 平村 和弘君

それでは会長の時間を始めさせていただきます。
本日は「車検」について話をしたいと思います。

正式には「自動車継続検査」といい、一般的に略して車検と呼ばれています。目的は、車検を受ける車が「道路運送車両法」に定められた「保安基準」に適合するかどうかを「検査」する事です。

車検は定期的に受けることが法令で決められており、ご承知の通り乗用車は2年、貨物車は1年です。検査するのは「安全性」と「公害防止」で、具体的には前後及びサイドブレーキの制動力、スピードメーターのずれ(19年以降製造で時速40kmのメーター表示で30.9~42.55km/h)、サイドスリップ(直進性)、ヘッドランプの光軸・光度、全ての灯火類が作動するか、各連結部にガタがないか及びブーツに破れがないか、ワイパー・ホーンが正常に作動するか、エンジン・ブレーキ・エアバックに関する警告灯が点灯していないか等です。ここまでが安全性で、公害防止ではマフラーの状態、排気ガスの測定等があります。

その他、オイル漏れや冷却水漏れがあると検査不可となりますので整備が必要です。

全ての項目に合格して保安基準に適合となり、適合証票が発行されます。離島である五島市は、「自動車検査証」いわゆる車検証が更新されて戻ってくるのにタイムラグがあり、その間は適合証票が車検証の代わりとなります。ちなみに、適合証票の有効期間は2週間です。

通常、車検は1か月前から受けられますが、五島を含めた離島では2か月前から受けられますので、余裕をもって整備工場と日程調整をしていただけだと思います。

以上で会長の時間を終わります。

幹事報告

幹事 松岡 孝博君

【当クラブ関係】

- 本日、例会終了後に第4回60周年実行委員会を2階会議室で開催します。
- 先週(2月2日)開催した、新入会費の廃止について福江ロータリークラブ細則に変更が生じた箇所の削除と訂正箇所を書いたものを、会員皆様のメールボックスにお配りしておりますのでご覧ください。質問等のある方は、松岡までお寄せください。
- 例会休会のお知らせ
次週2月16日(金)は、例会休会です。
次々週2月23日(金)は、クラブ定款第7条第1節(d)項により例会休会です。

次の例会は、3月1日（金）となります。

【地区関係】

- 長崎北ロータリークラブより、例会休会のお知らせが届いています。

委員会報告

出席報告

- ◆ 2月9日（欠席者メイクアップ）
中村 栄治君 柳田 靖夫君 山下 実君
- ◆ 2月9日（免除(a)欠席者）
植松 郁雄君 中村 博義君
- ◆ 2月9日（免除(b)欠席者）
清瀧 誠司君 佐々野邦久君 吉田 泰之君

親睦委員会

スマイル報告

- ◇ 山里 一郎君 本日のロータリー創設記念日卓話のご静聴お願い致します。
- ◇ 有川 真史君 誕生祝いありがとうございます。
- ◇ 才津 喜彦君 スマイル会優勝しました。2連勝です。
- ◇ 平村 和弘君 山里一郎さん、本日のロータリー創設記念日卓話よろしく申し上げます。
- ◇ 張本 民雄君 //
- ◇ 片山 雅文君 //
- ◇ 山下 克己君 //
- ◇ 西上裕一郎君 //
- ◇ 松岡 孝博君 有川真史さん、本日は誕生日おめでとうございます。
- ◇ 小畑 和男君 //
- ◇ 三村 剛孝君 //
- ◇ 藤川 博士君 //
- ◇ 山口 裕之君 //
- ◇ 宮脇 秀至君 //
- ◇ 戸田 博之君 才津喜彦さん、スマイル会優勝おめでとうございます。
- ◇ 神之浦文彦君 //
- ◇ 橋本 武敏君 //
- ◇ 寺澤 信義君 //

合計 19,000円
通算合計 446,000円

部内卓話

「ロータリー創立記念日卓話」

ロータリー情報委員会
委員長 山里 一郎君



毎年2月23日はロータリー記念日です。本日はロータリー情報委員会の委員長として、ロータリー記念日の卓話を依頼されました。ロータリー情報委員会は、会員の皆様にロータリーに関する新しい情報を提供すること、また新会員にはロータリアンとしての基本情報や必要な知識を提供することが役割となっております。私は平成23年7月に入会させていただき、現在入会13年目になります。まだまだロータリーについては特に詳しいわけではありませんが、情報委員会の役割りとして誠に僭越ではございますが、卓話をさせていただきます。皆様、よろしくお願ひいたします。

私は入会時には、ロータリーに関することはほとんど何も知りませんでした。先輩方に言われたことを、そのまま何も考えずに行っていた気がします。そんな私でしたが、幹事を務めさせていただいた年度には自分でも勉強しましたし、先輩方にも自分から質問したりして様々なことを学ばせていただいたと感じています。

ロータリーにおける様々な決まりは、手続要覧に記載されています。この手続要覧は3年に一度、規定審議会で審議されて改訂されていますので、正確な情報は最新版の手続き要覧を見るか、国際ロータリーのホームページで確認することができますのでご参照ください。

また福江RCについての決まりは福江RC定款や細則、内規に記載されています。新会員の方々には入会三年未満の会員を対象とした情報集会（炉辺会議）を開催しますので、その折にはさらに詳しく説明をさせていただこうと思います。

創立記念日の話に戻りますが、1905年2月23日はロータリーの創始者であるポール・ハリスがシカゴで友人三人と初めての会合を持った日とされ

ています。その会合のメンバーは青年弁護士ポール・ハリス、石炭商シルベスター・シール、洋服商ハイラム・ショーレー、鉱山技師のガスターバス・ローアでした。その会合以来、発展を続けてきたロータリーは現在では200以上の国や地域で140万人以上の会員から成る組織となりました。日本では1920年（大正9）に米山梅吉氏などが東京RCを設立したことからスタートしました。

ロータリーの創立以来の歴史や考え方については、国際ロータリーのホームページに掲載されています。



ロータリーのあゆみ
（国際ロータリーより）

ロータリー創立記念日は創立当時のポール・ハリスの思いを振り返る日でもありますので、是非ご覧いただきたいと思います。

ところで創立記念日は、世界理解と平和の日（World understanding and Peace day）とされ、国際的な理解を進める日でもあります。そこで話はガラッと変わりますが、本日は今年の正月に私がマレーシアとシンガポールを訪れて世界的な理解を深めてきた話をしたいと思います。

今年の正月、1月2日から私は夫婦でマレーシアに行きました。（世界理解を深めるため）

元旦の昼の便で福岡まで行き、二日の午前の飛行機で福岡空港から出発しました。二日の出発直前に戸田さんから電話があり、新年の挨拶と実家の灯油の配達依頼を受めたので、三日にマレーシアから配達完了の連絡を致しました。

そもそも私たちが何故マレーシアに行ったかという、23歳になる娘が大学院生としてマレーシアの大学に通っているからです。昨年7月からクアラルンプールに居住し、現地のマレーシア工科大学に通っていますが、どの様な環境でどんな暮らしをしているのか、ずっと気になっていました。

また、今年は私たち夫婦にとって結婚30周年の記念の年でもあり、いい思い出にもなるかもとの考えもあり思い切って夫婦で行ってみることにしました。

私は、旅行会社が主催の団体旅行では何度か外国に行った経験はありましたか、今回は初めてガイドさんなしで航空券とホテルだけを事前に予約する形の個人旅行でした。出入国の手続きや現地

での対応には不安もありましたが、出入国に関してはデジタル化が進んでいるので、事前にスマートフォンから入国申請をすることで自動改札みたいな扉から、思ったより簡単に入国することができました。

マレーシアは以前の知識では発展途上国のイメージでしたが、実際に行ってみると首都のクアラルンプールは超近代的な大都会で、高層ビルが立並ぶ、まさに近未来的な街並みで衝撃を受けました。なかでも、ペトロナスツインタワーはツインタワーとしては世界一の高さを誇る超高層ビルで、華やかなイルミネーションがとても印象的でした。マレーシアは親日的な国民性で治安も比較的良いので、日本人移住者も多いとのことでした。大学の学生寮もキレイに整備されており、物価が安く住みやすい環境で、娘の住環境として親としても安心することができました。

現地には4泊滞在しましたがマレーシアだけではもったいないと思い、隣国のシンガポールへも行きました。マレーシアからシンガポールへは時間とお金を効率的に使う為に、約500キロを夜行バスで移動しました。ジョホールバルの検問所で高速バスを降り、手荷物を持って国境を通過し、シンガポールに入国してから再度同じバスに乗る経験をしました。

シンガポールも世界的にも有名な素晴らしい観光地でしたが、想像していた以上に物価が高く、ホテルの部屋で飲んだ缶ビールが2,000円だったことに驚いて、夕食はマックにしました。所得税の優遇措置があることは知っていましたが、世界中の金持ちが集まっている印象で、フェラーリやボルシェなどのスポーツカーもよく見かけました。

観光地を巡る市内の交通手段としては、マレーシアでもシンガポールでも地下鉄やバスの他に「Grab」という、日本では白タクと言われているシステムを利用しました。先週の才津直前会長の卓話でも話題となっていました。日本でもタクシーの運転手不足問題の対策として、ライドシェアという名称で導入の検討が進められています。現地ではスマートフォンのアプリで既にシステム化されており、タクシーよりも台数が多くて待ち時間が少ないので広く一般に利用されています。

「Grab」を利用した感想
（イイところ）

- 連絡できる対象が多いので配車が早い
- 価格競争があるので料金が安い
- 予約時点で料金が確定しているので安心

- ・現金の受け渡しがないのでスムーズ

(ワルイところ)

- ・運転手によるバラツキが大きい
- ・ドライバー同士の競争意識がスゴイので割り込みが酷い
- ・全体的に運転が荒い、マナーがワルイ

「Grab」をライドシェアとして日本で実施するには、まだまだ難しい課題も多くあるし、日本に応じた研修やシステム改良なども必要だろうと感じました。

その他に今回の旅行を通じて全体としての感想ですが、世界ではキャッシュレス化が日本よりもずっと進んでいると感じました。実際、私は現地通貨への両替は全くしませんでしたし、支払いはすべてキャッシュレスでした。シンガポールは地下鉄も切符売り場はなく、自動改札はクレジットカードをかざして通過する仕組みです。スーパーやコンビニも全てクレジットカードで決済しました。(逆にカードがなければ何もできない)

もう一つ印象に残ったことは、海外の空港のデカさでした。特にシンガポールのチャンギ国際空港は、日本では見たことがないくらいの広さで、ターミナルが5箇所もあり、飛行機の乗り継ぎをするのに空港内の電車でターミナル間を移動しました。もちろん24時間営業で、世界各国の航空会社が次々に乗り入れる巨大なハブ空港で、もの凄い活気を感じました。日本でも海外のインバウンド需要を積極的に受け入れて観光を進めていくのであれば、このような巨大な国際空港が必要ではないかとも感じました。

ということで、今回の旅行(世界理解のための海外視察)は、私たち夫婦にとって結婚30周年のとても良い思い出になりました。娘は3月に帰国する予定ですが、マレーシアには私たち家族がお世話になった縁もあるので、これからも親しみを持って過ごしていきたいと思います。

以上をもちまして、今回のロータリー創立記念日にちなんで海外視察報告を終了いたします。私は前回の海外視察は5年前のオーストラリアでしたが、またそのような機会がありましたら報告させていただきたいと思います。